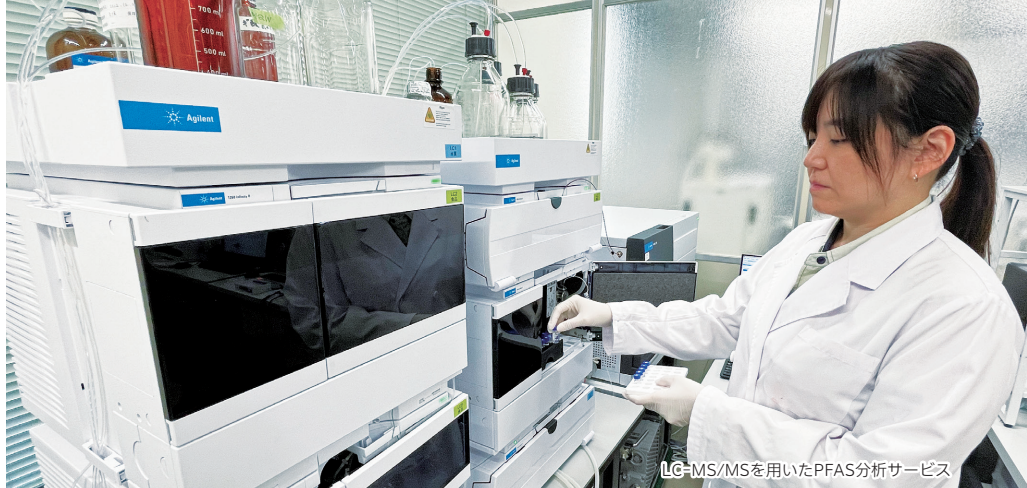




LC-MS/MSを用いたPFAS分析サービス

本社:〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店:〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

国内事業

「PFAS分析試験」本格的にサービスを開始

2023.10.05

PFAS（有機フッ素化合物）は自然界にはもともと存在せず、人工的に作られた物質で耐熱性、耐薬剤性、撥水性などの優れた特性があるため、食器や衣類の加工や航空機や大型駐車場で使用される泡消火剤や半導体の製造に至るまで幅広い用途で使用されてきました。PFASの一種であるPFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）やPFOA（ペルフルオロオクタン酸）、PFHxS（ペルフルオロヘキサンスルホン酸）について人の健康保護の観点から、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約（POPs条約）においても規制対象物質とされています。

2020年4月より、厚生労働省よりPFOS及びPFOAを水質管理上留意すべき項目として水質管理目標設定項目に位置付け、暫定目標値をPFOSとPFOAの合算値で50ng/Lと定められました。

当社では、液体クロマトグラフタンデム質量分析計（LC-MS/MS）を用いてPFAS（PFOS・PFOA・PFHxS）の分析サービスを開始し、今後様々なPFAS、様々な媒体（水質、各種製品、廃棄物、食品等）における分析方法を確立していきます。

※生物検定法によるダイオキシン類分析試験、食品中の残留農薬分析試験及び、水道水及び水道原水中のカドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物の分析試験。

PFAS分析における3つの強み!

01

最新鋭の分析機器

液体クロマトグラフタンデム質量分析計（LC-MS/MS）で低い定量下限まで対応!

02

官民連携の共同研究

2019年より公的機関との共同研究で分析方法を確立!

03

安心の検査機関

・ISO17025の試験所認定取得※
・水道法第20条水質検査機関
・食品衛生法登録検査機関

海外貢献

インドインターン生2名を受入れ

2023.05.22~07.17

今年で15年目となるインドインターンシッププログラムを、4年ぶりに開催しました。

2006年から国際貢献や海外事業展開に向けた人材育成・ネットワークづくりを目的に活動を続けています。今年は過去最多で508人の応募があり、その中から2名が来日し、ダイオキシン類分析や水質分析の他、それぞれ専門の研修を受けました。



研修生のコメント

Muneeshwaran Karthikeyan (ムニーシュワラン・カルティケヤン)

私はこの研修でグローバルかつ多様な物事の考え方をもつようになりました。日本でのインターンシップ中に得た知識、スキル、人脈は、私の将来に繋がると感じています。また、日本の文化や社会に深く浸ることができました。



Preksha (プレクシャ)

私はこの研修で日本人の仕事に対する熱心さや、作業場など身の回りを掃除する習慣、積極的なボランティア活動への参加など、様々な発見や刺激がありました。来日前は食生活や言葉の壁に不安がありましたが、スタッフのサポートもあって日本語をいくつか学び、日本食も楽しむことができ、何事も不可能なことではないと感じると同時に、人の温かさが身に染みました。





森林と琵琶湖のつながりをテーマに、環境研修会2023開催 2023.08.05

「子どもたちが身近にある環境問題を理解し、今できることを考える」を目的として、毎年近江八幡市子ども連合会が主催となり教育担当の日吉とともに、地域の小学生対象に環境研修会を開催しています。15回目を迎える今年のテーマは「森林と琵琶湖のつながり」です。琵琶湖の水は、生活する私たちの暮らしを支えており、その水源である森林は土をととして水をきれいにする大きな役割があります。それを理解し少しでも実行に移してもらえよう当日参加された24人の児童にむけて講義と「ろ過による浄水実験」を行いました。

午後は琵琶湖博物館の展示物から出題されるクイズラリーを楽しみました。多くの児童より「楽しかった」と言ってもらえることができ、達成感がありました。引き続き“次世代育成”に繋がる社会貢献を続けたいと思います。



老蘇小学校の国際理解教育でインド文化を伝える 2023.03.20

近江八幡市老蘇小学校5年生では“色んな国とのつながりを知る”ことを目的に国際理解教育をされています。今年は「SDGs」をテーマにクレビタ社員が今回で2回目となる講義を行いました。

講義では、当社の業務紹介の他、拠点をもつインドの環境問題、そこでの事業や経緯などお話しし、当社が「環境」という視点で世界とどのように「つながり」があり、社会に貢献しているかをお伝えしました。

環境問題やSDGsという言葉は児童らにとって難しい印象があるようでしたが、日吉の「四方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし、次世代よし）」の取り組みを紹介したことで、今回のテーマである「SDGs」を理解いただけたのではないのでしょうか。

その他、クレビタ社員が母国インドの文化を紹介し、チャイやシーラといった郷土料理を児童と一緒につくりました。今回、児童らに異文化を学ぶことの面白さを感じてもらい、幅広く他の国にも興味をもってもらいたいです。今後も次世代貢献に積極的に協力し、地域に貢献して参ります。



八幡小学校の先生がごみ収集を体験 2023.07.31

八幡小学校の3名の先生が廃棄物収集車に乗り、ごみ収集を体験されました。市内では小学4年生になると環境学習でごみの問題を学びます。そのため先生らは自らが体験することで、ごみ問題の実態や重要さを実感されています。『ごみ量の多さに驚きと収集の大変さ、無くてはならない仕事だと実感しました』、『ごみを出して終わりではなく、収集する人のことを考えるなどモラルが重要だと感じました』など手紙で感想をいただきました。体験された先生を通して児童らにもごみの出し方や仕事の必要性、モラルを学んでいただきたいと思います。



表彰

村田社長がOECCより感謝状を受領

村田社長が、(一社)海外環境協力センター(OECC)で14年間務めた理事と4年間務めた広報部会長を退任し、6月21日(水)OECCより永年に亘る海外環境開発協力への貢献を称えられ感謝状をいただきました。



西野常務取締役が協会発展への貢献を称えられ表彰

5月29日(月)、西野優常務取締役が理事を務める(公社)滋賀県環境保全協会より多年にわたる協会発展への貢献を称えられ環境保全功労者として表彰されました。



西田次長が協会発展への貢献を称えられ表彰

5月25日(木)、施設管理部 西田次長が(公社)滋賀県生活環境事業協会より多年にわたる浄化槽関連業界の発展に多大なる貢献およびその功績を称えられ表彰されました。



長野社員が日本農薬学会でポスター賞を受賞

9月14日(木)、分析検査部 長野社員が日本農薬学会の第40回農薬環境科学研究会にてプレゼンテーションを行い、ポスター賞を受賞しました。



発表内容：農業等調査および「稲作ごよみ」による岩岳川実験河川のリスク評価の検討



- 用紙: 琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
- インキ: 環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造・廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量: 254kg/3,000枚